

# 「がん相談センターこうち」 について

平成23年3月4日

高知県 健康政策部 健康対策課

## 「がん相談センターこうち」設置までの経緯

- ✦ 高知県がん対策推進条例（平成19年3月）の制定に向けた準備段階
  - ⇒公平で**誰もが相談しやすい**、拠点病院と連携した相談窓口整備を求める患者会の「声」
  - ⇒相談窓口整備を条例に明記
  - 第7条（がん患者等への支援）  
**相談窓口の整備**等による相談支援の推進

↳ 「がん相談センターこうち」（開設H19.10）

- ✦ その後、平成20年3月 高知県がん対策推進計画を策定
  - 3つの基本方針
    - 1) がんの予防と早期発見・早期治療の推進
    - 2) 高度ながん医療と切れ目のない医療の実現
    - 3) 患者にとってよりよいがん対策の推進
  - 2つの全体目標
    - 1) 10年以内に75歳未満のがん年齢調整死亡率を20%減少
    - 2) がん患者、その家族及び遺族の満足度の向上



2007年10月15日  
がん相談センターこうち設立



**土佐あきとち**  
連載「続」と尋ねると「ない」。  
「生命の重さ」これが現状だ。  
別の医師に意見を求め、患者の不安を癒す方法もある。患者の不安を癒す方法もある。患者の不安を癒す方法もある。

**患者が主役**

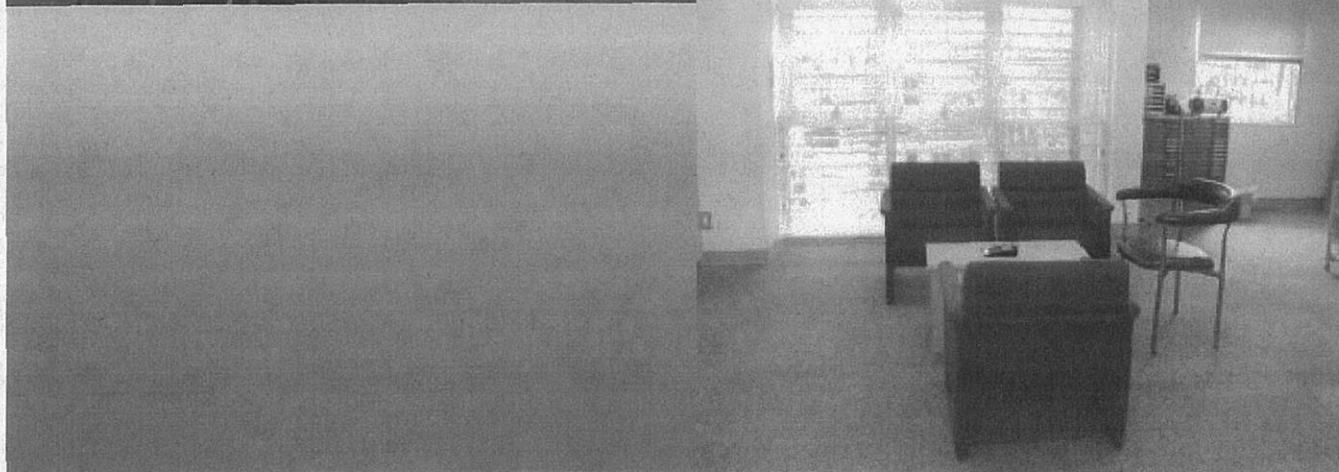
先日、取材の一環で「がん相談センターこうち」の定例会を訪れた。「患者は医師から説明されても『ほかに治療法があるのでは?』と思う。その不安を共有する場が欲しかった」と安岡祐利子会長が設立の趣旨を説明してくれた。もともと、現状では課題も少なくない。

会ではメンバーが疾患部位別に、100病院の△△医師はしっかり説明してくれるし、話に耳を傾けたいと願う。また、この場以外に情報源は?

(地報部・安岡(司)



2007年10月15日  
がん相談センターこうち設立



## 「がん相談センターこうち」の概要

項目	内容
事業内容	1)がん患者や家族等の悩みへの対応 2)県内医療機関やセカンドオピニオンに関する情報提供 3)がん患者等の交流の場(サロン)の運営 等
実施主体と運営方法	実施主体である県が、NPO法人高知がん患者会一喜会に委託
相談員	常時1名以上配置
開設日時	9:00～17:00(日曜、国民の祝日、年末年始を除く)
場 所	こうち男女共同参画センター「ソーレ」3階
相談方法	来所面談(サロン併設)・電話

## 相談件数

		H20		H21		H22 (12月まで)	
		年間	月平均	年間	月平均	年間	月平均
がん相談 センターこうち	面接	431	36	226	19	275	31
	電話	264	22	535	45	379	42
	合計	695	58	761	63	654	73
拠点病院A	合計	1,101	92	1,049	87	777	86
拠点病院B	合計	633	53	2,161	180	851	95
拠点病院C	合計	239	20	470	39	298	33

## 相談内容

(平成22年4月～12月)

項目		総 数			
		本人	家族	その他	
相談件数		654	391	168	95
内 訳	治療	291	192	88	11
	不安	88	67	18	3
	医療情報	71	33	11	27
	転院	45	32	13	0
	セカンドオピニオン	39	23	16	0
	検査	25	18	6	1
	生き方	21	14	4	3
	緩和ケア	11	3	8	0
	治療後の生活	7	4	2	1
	術後後遺症	2	2	0	0
	その他	54	3	2	49

### 患者会が相談業務を行うメリット

- ・ 患者目線で対応できることから、経験に基づくきめ細かな助言ができる。
- ・ 些細な疑問も気軽に相談できる。(敷居が高くない)
- ・ 出張相談や、医療機関でのサロンへの参加など、相談センター以外でも患者さんの声を聞き助言ができる。
- ・ 患者さん等の支援が長期にわたることから、信頼関係が構築できるとともに、患者さん等の状態や生活環境を把握しながら、先を見越したきめ細かな支援ができる。
- ・ 患者さん等への率直な助言ができる。(患者さん等への教育)

### 拠点病院以外に相談窓口を設置するメリット

- ・ 拠点病院では相談しにくい医師への不満や治療に対する疑問の相談に対応できる。
- ・ 複数の医療機関の患者の相談に乗ることで、多くの関係機関の現状把握ができる。

## 23年度の新たな取組（予定）

- 医療機関や本人の要請に応じた心のケア支援相談員の派遣業務
  - ・ H21～ がん患者・家族の心のケアを支援する人材を養成開始  
※がん患者会や医療従事者が中心となって「がん患者支援プロジェクト」を発足し、日本医療政策機構の財政支援を受け研修会を開催
  - ・ H22～ 研修修了者17名が心のケア支援相談員として独自にサロンや病院、自宅で患者さんの心のケアにあたる
  - ・ H23～ 心のケア支援相談員の派遣を「がん相談センターこうち」の業務として実施

### 今後の課題

- 相談内容の拠点病院をはじめとする関係機関へのフィードバック
- 人材育成、相談機能の一層の充実
- ボランティアとの連携
- 情報収集、情報提供機能の強化